

総合的な学習の時間 学習指導案

単元名 藤岡市の風土を生かした特産物 私の藤岡『押し食材』PR大作戦！  
〔探究課題：～地域の食～ 食を通じた地域の活性化と関わる人々〕

令和5年〇月〇日(〇) 第5校時 体育館  
藤岡市立西中学校 〇年〇組 指導者 〇〇 〇〇

I 単元の構想

1 単元の目標及び生徒の実態

単元の目標	藤岡市の特産物を調査し、特産物による藤岡市の活性化を進める活動を通して、藤岡市には豊かな風土を生かした特産物があることや特産物に関わる産業の発展への取組、それらに関わる人々の思いや願いを理解し、特産物の魅力をさらに広めるための方法を多様な視点から考えるとともに、藤岡市の活性化に向けて行動できるようにする。		
生徒の実態	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等

2 評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	①藤岡市の豊かな風土を生かした特産物を理解するとともに、様々な人や諸機関が協力し合いながら産業の発展に取り組んでいることに気付いている。 ②藤岡市の特産物に関わる情報収集や特産物を用いた地域の食についての調査を効果的に実施している。 ③藤岡市の特産物に関わる理解の高まりは、特産物や食と様々な人や諸機関との関係を探的に学んできた成果であると気付いている。	①藤岡市の特産物の調査を通して課題を設定し、解決の方法や手順を考え、見通しをもって計画を立てている。 ②藤岡市を活性化するために必要な情報について、目的に応じて手段を選択して収集している。 ③藤岡市の特産物の特徴や魅力、有用性など様々な情報や考えを比較し、多様な視点から分析している。 ④藤岡市の特産物について、調べたり考えたりしたことをまとめ、相手や目的、意図に応じて論理的に表現している。	①様々な人や諸機関との関わりを通して自他の良さに気付き、課題解決に向けた藤岡市の特産物の調査に取り組もうとしている。 ②異なる意見を尊重し、他者の考えのよさを生かしながら、協働して藤岡市の特産物の調査を進めようとしている。 ③藤岡市の特産物と様々な人や諸機関との関係に気付き、課題解決に向けて行動しようとしている。

3 指導及び評価、ICT活用の計画 ※別紙参照

4 探究課題の価値

藤岡市には、豊かな風土を生かした様々な特産物がある。そして、産学官がそれぞれの立場で特産物による産業の発展への取組も行われている。しかし、特産物の知名度は決して高くはなく、様々な特産物があることを知らない藤岡市民もいるのが現状で、生徒も同様である。

本単元では、藤岡市の特産物の特徴や魅力、有用性など様々な情報や考えを整理・分析し、特産物による藤岡市の活性化を進める活動を通して「地域には、豊かな風土を生かした特産物や食がある(独自性)」「様々な人や諸機関が協力し合いながら産業の発展に取り組んでいる(相互性)」などの概念的な知識を獲得できる。また、国語科の自分の思いを相手に伝える活動、社会科の衣食住を調べる活動やデータ活用など、各教科等との連携を図り、横断的・総合的に学習を進めていく中で、特産物や食と様々な人や諸機関との関係を多様な角度や側面から俯瞰して捉え、探究していくことができる。そして、藤岡市を支える人々の存在から自分の生き方を見付け、実社会や実生活の問題の解決に取り組むことができる。

なお、次の単元では、藤岡市の特産物に関わる人々の仕事について調査を行う予定であり、第2学年の「職」の視点から自分の生き方を探究する学習へと発展していく。

II 本時の学習 (11/20)

- 1 ねらい JAの広報の方からの話を基に、必要な作業を話し合っ、構想を考えることを通して、特産物の魅力が伝わる特集ページの作成に向けて見通しをもつことができる。
- 2 展開 【★ICT 活用に関する事項】

主な学習活動 予想される生徒の反応〔S〕	○指導上の留意点 ◆評価項目（観点）
<p>1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。(5分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;めあて&gt; 見る人を惹きつけ、特産物の魅力が伝わる特集ページの作成に向けて、必要な作業を話し合い、特集ページの構想を考えよう。</p> </div> <p>S：前回の講義で、藤岡市の特産物のPRの仕方を知ることができたな。PRするにはいろいろな工夫を考えないといけないのだな。</p>	<p>○前時の学習内容と各班で調べた藤岡市の特産物の情報のつながりを意識して、本時の活動に取り組むことができるように、前時に記述した振り返りを確認するよう促す。</p> <p>○目的意識や相手意識をもって特集ページを作成する見通しをもてるように、今まで調査した情報を確認するよう促すとともに、見る人を惹きつけ、特産物の魅力が伝わるために必要な作業は何か、問いかける。</p>
<p>2 見る人を惹きつけ、特産物の魅力が伝わる特集ページを作成するために、必要な作業を各班で話し合う。(15分)【★検索・収集・分析】</p> <p>S：今まで調べた情報以外にも調べた方がよい情報があるのかもしれない。みんなが知らなような魅力的な情報がPRになるのかもしれないので、調べたいな。</p> <p>S：文章のレイアウトや文字の大きさ、内容など見る人を惹きつけることができる工夫も考えたいな。</p>	<p>○相手意識をもった魅力ある特産物のPRを意識できるように、藤岡市の特産物について知らない人が興味を惹くような内容を作成するために必要な作業を考えるよう促す。</p> <p>○必要な作業が明確になるように、JAの広報の方、印刷会社の方のPRに関わる話を想起するよう促す。</p> <p>○今後の作業の見通しをもてない班には、必要な作業をイメージできるように、広告の見本や雑誌の記述を提示する。 <span style="float: right;">【★提示】</span></p>
<p>3 Canva(キャンバ)に記入しながら、特集ページの構想を考える。(25分)【★共同編集】</p> <p>S：調べた情報をCanvaに記入したら、文字が多すぎるから、魅力が伝わる情報を選びたいな。書き込める内容に限られるから、情報を分かりやすい文章にまとめることも必要だな。</p> <p>S：見出しの言葉は意外性がある方が、見る人の注目を集めるかもしれないな。それに、このページを見た人が、一目で藤岡市の特産物の特徴やよさをイメージできるといいな。友達が言うように表にまとめるとよさそうだな。</p> <p>S：写真の上に文字を重ねるという考えもいいな。伝えたい内容が文章と写真で一緒になっていると一目で分かりやすくなると思うな。</p> <p>S：特集ページを構想したけれど、もっと藤岡市の特産物の魅力を伝えるために工夫ができそうだな。PRの仕方を勉強する必要があるな。</p>	<p>○特集ページの構想を具体化できるように、Canvaにレイアウトやデザインなどを記入し、情報を整理するよう促す。</p> <p>○今後の作業を効率よく進めることができるように、作業の優先順位と分担も意識しながら、話し合うように促す。</p> <p>○人を惹きつける特産物のPRができるように、参考にした広告の見本や雑誌の記述などのよさを問いかける。</p> <p>○特集ページの構想がまとまった班には、構想した特集ページのよさや改善点を自覚できるように、伝えたい特産物の魅力を効果的に伝えるために工夫した点を問いかける。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◆評価項目（思） 話し合いの様子やCanvaの記述内容から、「特産物の魅力が伝わる特集ページを作るための必要な作業を考えて、特集ページの構想を考えているか」を評価する。</p> </div>
<p>4 本時のめあての到達度を確認し、振り返りをする。(5分)【★保存・提出】</p> <p>S：特産物の魅力が伝わる特集ページを作るために必要な作業を考えられたな。一人では思い浮かばなかったいいアイデアを班の友達とたくさん話し合えて、特集ページの構想を考えることができたよ。</p>	<p>○本時の取組のよさを実感できるように、班で話し合いながら特集ページを作るための作業を具体化し、構想できたことを称賛する。</p> <p>○次時の活動の見通しをもつことができるように、「本時の活動での気付き」「次時に取り組みたいこと」の2つの項目に、振り返りを記述するよう促す。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;振り返り&gt; S：特集ページを見た人が、一目で藤岡市の特産物の特徴やよさをイメージできるように特集ページを作成したいです。次回は、特産物の生産量について調査していきたいです。</p> </div>	

<別紙>

3 指導及び評価、ICT 活用の計画（全 20 時間：本時第 11 時）

	時	学習活動	知	思	主
つかむ	1	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">探究課題と出会い、単元の課題を把握する。 4 時間</div> 【探究課題と出会う】 ・藤岡市の特産物について知っていることを話し合う。（あ） ・市で特に生産量が多い特産物についての話を聞く。（あ）	①		
	2,3	【単元の課題を把握する】 ・J A の園芸課の方から特産物の生産や、学校給食センターの方から地産地消の活動、特産物を食べてもらう努力の様子についての話を聞く。（i）（ii） <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">単元の課題 多くの人に藤岡市の特産物の魅力を知ってもらい、食べてもらえるようにPR活動をしよう。</div>	①	②	
	4	【追究の見通しをもつ】 ・藤岡市の特産物から、調査する特産物を決め、学習計画を話し合う。 ・藤岡市の風土と、食材が特産物となった背景を調査する。 ・単元の課題を基に、単元名（スローガン）を決定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">単元名 藤岡市の風土を生かした特産物 私の藤岡『推し食材』PR大作戦！</div>		①	
追究する ①	5	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">単元の課題に基づき、各班で課題を設定し、追究する。5 時間</div> 【課題の設定】 ・特産物の調査から、PRする特産物の特徴やよさを考える。（a）		①	①
	6,7	【情報の収集】 ・班で話し合いながら、さらに知りたい特産物の特徴や情報を調査する。（い）（a）	②	②	
	8,9	【整理・分析】 ・「特産物の特徴や魅力が伝わる」の視点を基に、調査したことについて班で話し合う。（い）（a）		③	② ③
追究する ②	10	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">各班で、新たな課題を見だし、継続して追究する。 9 時間</div> 【課題の設定】 ・J A の広報の方からPR活動の取組を聞く。（i）		①	
	11	・特集ページの作成に向けて、必要な作業を考えて特集ページを構想する。（本時）（い）			
	12~14	【情報の収集】 ・班ごとに、特集ページの作成に向けて必要な情報を調査する。（い）（a）	②	②	
	15,16	【整理・分析】 ・収集した情報を整理し、特産物の特徴や魅力がより伝わるPRの方法について考える。（い）（a）		③	②
	17,18	【まとめ・表現】 ・調査した特産物の特徴やよさを特集ページとしてまとめて、PR活動する。（a）		④	
まとめ	19,20	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">単元全体の学習の振り返りをする。 2 時間</div> ・学習成果について、保護者や地域の方に回答いただいたアンケートから、自分たちの取組を評価する。（う）（え）（i）（ii）（iii） ・単元を振り返り、考え方が変わったことや成果、課題をまとめる。（う）	③		

\* 活用する学習支援ソフト等：（あ）Google スライド （い）Canva(キャンバ)

（う）ミライシード(オクリンク) （え）Google フォーム

\* 活用するコンテンツ等：（a）J A たのふじ <https://ja-tanofuji.or.jp/>

\* 関わる外部人材等：（i）J A の職員 （ii）給食センターの方 （iii）保護者や地域の方々